



DATE : June 19th 2019

RE : HILL VS D&B 比較レポート

同封しました、HILL VS D&B 比較レポートの大まかな相違点を日本語にしました。

1) 出力及び再生周波数帯域の違い。

HILLは25Hz~50Hzの再生周波数帯域が十分にあり、D&Bはそれが少ない。

25HzでHILLはD&Bのそれより12dB、4倍のパワーが出せるので、キックドラム、ベースの奥行きある深い低音再生ができ、又は、DJのサブ帯域に関しても押し出しのある低音、存在感のあるサブ低音を届けることができます。

10KHz以上では、D&Bより10dB大きく再生します。ダイナミックレンジは4倍もD&Bより持っています。この状況は、JBL VTXにもみられるように、DSP制御、スイッチング電源パワーアンプを採用するメーカーではダイナミックレンジは狭くなります。

2) エリアカバー

ボーカル帯域の基本である1500Hzでの比較です。

図の通りD&BではFOHポジションでは良好ですが、その他多くの客席エリアでは十分にカバーされません。

HILLではもっと広いエリアをカバーできております。

3) 両者音色カバーエリアの比較です。

D&Bでは、FOHポジションを除いて、8KHz以上での欠如が見られ、全体的に音色はこもり気味。

HILLでは、12KHzまでカバーエリアが広くあり、どこの位置でもクリアーサウンドです。

ハイハットやシンバルのPA再生は実にクリアーになっております。

4) 最後にサブスピーカーの比較でHILLとD&B及びJBL他社との相違点です。

D&B他社サブでは、客席が埋まっている状態になると、低域の到達性がなくなりサブ低域の不足状態に陥ることが見られます。HILLサブでは客席が埋まろうとも、確実に観客に低域を届けることができます。

この原因を解くヒントとして、D&Bサブの音は会場の外でもはっきりと聞こえてしまいましたが、HILLサブは会場外の音の漏れは少ないという事実です。HILLパワーアンプによるHILLの18インチスピーカーの制御が如何に確実にできているかという証拠です。しかも遠くまで低域を届けることもできるわけです。

5) 何と言ってもコストパフォーマンスはかなり差が出ます。HILLのほうが経済的になっております。

よろしくお願ひ致します。

岡本龍司 LSP Sound System